

落語とお食事会



平成28年10月16日(日)午前11時より皆楽荘大広間に地域の77歳以上の方80余名(満員御礼!)をお招きして「落語とお食事会」が行われました。相模亭吉麿(よしまろ)さんのみごとな紙切りの芸に大喝采、相模亭みの助さんの落語「そば清」には道中に小出街道も出現して、皆さん大笑い。文字どおり「笑う門には福来たる」の楽しい一日になりました。



福祉講座 絵本作家・保科琢音さんの『口絵ん会(こうえんかい)』

～地域でつなぐ笑がおの輪～

平成28年7月24日(日)コミセンまつりの福祉講座は絵本作家・保科琢音(たくお)さんによる講演でした。30代前半の若さで、ある時は絵本作家、ある時は落語家、ある時は施設プロデューサーと様々な顔を持つ講師が、自分自身のオモシロおかしい体験、地域交流で大切にしていることを「おしゃべり」してくれました。朝一番の講座とはいえ80名を超える参加者に、地域のつながりの大切さや活動に対する講師の熱意は伝わったように思えました。

尚午後は子どもたちに向けての『読絵ん会(どくえんかい)』を皆楽荘で行い絵本作家としての一面を見せてくれました。



福祉講座 これからの地域と保健福祉制度

～ 22世紀へ ともに支え合いながら生き生きと暮らす小出 ～

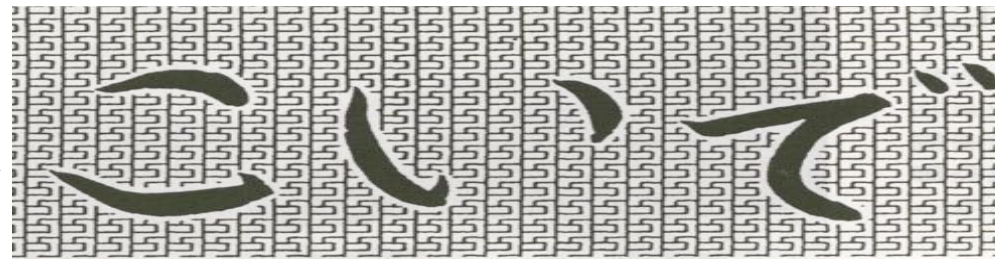


平成29年3月23日(木)この時期の気温変化を「三寒四温」と言う言葉で聞いてはありましたが、講演会当日はその「寒」の日に当たってしまい、この小雨降る寒い中どれだけの人が来て下さるのかと、講師仁木さん(小出地区包括支援センター「わかば」管理者)ともども心配しつつ開会時間を待ちました。

10時、嬉しい事に第1会議室の椅子30席が埋まったの開始となりました。いつものようににこやかに、穏やかな口調で日本の現状、急激な少子高齢化、それに伴う経済のひっばく、個人負担増加・・・と話される内容は厳しいものになってきました。これからの福祉を考えるにはまずは「意識改革」が必要な事。住民の意識もさることながら市長及び市議会議員を選ぶところから考えていかなければ市町村格差がすでに起きているとの事でした。福祉制度はどんどん変わってきます。日ごろからの研修の必要性を痛感しました。仁木さんは、「受け身ではなく小出地区の目指す地域像を皆でキャッチフレーズでも作りながら住民主体のまちづくりが必要ですね」と結ばれました。



地区社協



第46号

(平成29年3月31日)

小出地区社会福祉協議会

会長 五十嵐 清夫

茅ヶ崎市芹沢 1388-4

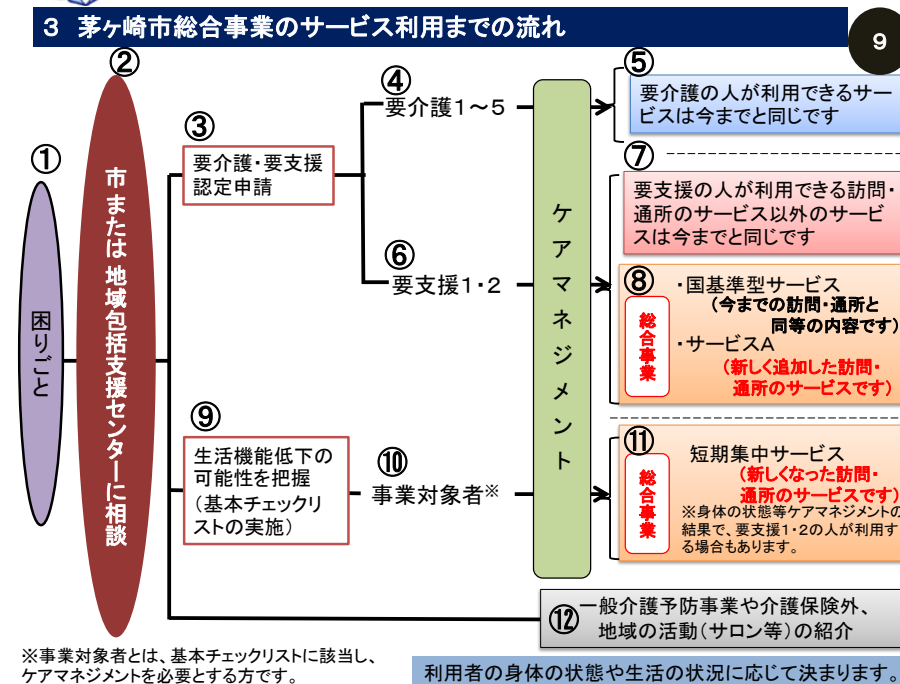
☎51-5301

介護予防・日常生活支援総合事業とは?

介護保険制度改正に伴い茅ヶ崎市では、要支援の認定を受けている方の訪問介護(ホームヘルプサービス)と通所介護(デイサービス)が平成29年4月から総合事業へ順次移行されることになりました。合わせて65歳以上のすべての方が参加できる「一般介護予防事業」もスタートします。移行後もサービス内容に大きな変更はありませんが、小出地区にお住まいで該当の方はまずは地域包括支援センター「わかば」(☎0467-33-5410)へ相談してみましょう。



総合事業の利用の流れ



要介護1~5の方のサービス内容は今まで通りで変更はありません。

一般介護予防事業の一つとして歌体操教室「ねぼし」が平成29年6月より小出コミセンで実施される予定です。(2回/月)詳細は茅ヶ崎市高齢福祉介護課(代表:☎0467-82-1111)までお問い合わせください。

上の図は「茅ヶ崎市介護予防・日常生活支援総合事業について(保健福祉部高齢福祉介護課:平成29年2月)」資料9ページをそのまま転載させていただいたものです。

皆楽荘マッサージ終了のお知らせ

茅ヶ崎市では75才以上の希望者に、平成16年4月から茅ヶ崎市と市社会福祉協議会よりマッサージ券が交付されてきました。特に小出地区は治療院がなく、当時の民生委員高齢福祉部会の人たちが中心となって検討重ね、市への要望等を働きかけの結果、皆楽荘での出張マッサージ治療が平成17年11月から開始されました。

この度、市の予算削減に伴い皆楽荘を会場として続けて来ましたが出張マッサージは3月を持って終了することになりました。利用者皆様にアンケートを取りましたところ、2名の方が有料でも続けてほしい!との回答でしたが、95%の方が廃止やむなしとの回答でした。長い間皆様に愛され親しまれてきました出張マッサージでしたが諸事情によりサービスを終了致します。(なお他の助成券 ex.「茅ヶ崎プレミアム商品券」等は今年度も継続予定ですので是非ご利用ください。)

サロンへのご参加、ご協力ありがとうございました！

4つのサロン「ほのほの小出」「むくろじ」「おしゃべりいろは」「楽々ひろば」は平成28年度も、それぞれ元気いっぱい活動しました。ご参加、ご協力、本当にありがとうございました。



おしゃべりいろは
(毎月第1木曜日)



ほのほの小出(年4回)



むくろじ
(毎月第1・3金曜日)



楽々ひろば
(H29.6月から
場所をコミセンに
移して月2回開催
いたします。)

出張「ほしつメソッド」を開催しました



平成29年2月28日(火)、3月7日(火)、3月14日(火)の3回にわたり、子育てでの「ほめる、しめる、つたえる」の練習講座が開かれました。子育てサロンむくろじの利用者さんから4月の職場復帰の前に受講できたらとの声があがり、福祉相談室わかばと小出地区社協、小出地区民児協との共催で急きょ開催の運びとなりました。受講者7名、子ども9名、託児および準備担当スタッフ17名(合計人数)でした。受講者アンケートより感想の一部をご紹介します。→

・今回むくろじの方々に手伝いしていただけて、本当に良かったです。子どもたちも親も安心して受講できたと思います。いろいろな方々に受けてもらえたら良いです。
・悩みを話しやすい雰囲気、とても勉強になりました。ロールプレイで自分の癖を客観的に考え直せるのも良かったです。ぜひまたこの講座を開いてほしいです！

平成28年度ボランティアセンター活動報告

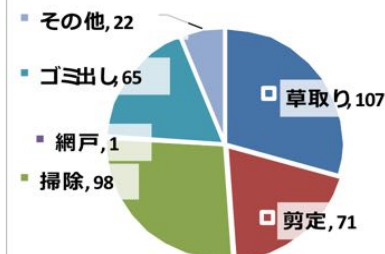


小出ボランティアセンターです



平成28年度は、3月末までに364件の活動をしました。
サポーターの延べ活動人数は1,229人です。

活動内容 件数 計364件



ボラセンと一緒に活動していただける方の参加をお待ちしています。時間的にも体力的にも無理なくできる範囲の参加で結構です

♪ お手伝いが必要な場合やお困りの場合はお気軽にお電話ください。
また、ボラセンの事務所(皆楽荘の中)にも、お気軽にお立ち寄りください。
難しいお話でも包括支援センター・福祉相談室などと相談しながら対処いたします。
TEL & FAX : 0467-98-0901
開所日 : 火・金の9:30~12:00

「ねむの木学園」訪問記

前日の春二番とは打って変わり穏やかな春の日となった平成29年2月21日(火)、今年度の施設研修先は静岡県掛川に在る「ねむの木学園」でした。1968(昭和43)年、日本で初めての肢体不自由児のための養護施設として設立され、現在は様々な障害を持った4歳から70歳代まで74名(うち児童は11名)が生活しています。園長の宮城まりこさんは、パートナーだった吉行淳之介さんとの三つの約束「途中で投げ出さない、愚痴を言わない、お金がないと言わない」を守り続け、90歳の今日まで心血を注いで来られました。1979年に併設された学校はインフルエンザによる休校のため見学できませんでしたが、「どんぐり」美術館内に展示されたこどもたちの



絵をゆっくり鑑賞できました。どの絵も色使い、構図、緻密さ、根気強さ等個性があふれ、観る者の心に迫ってくる力作揃いでした。

宮城まり子さんはこの日採用面接をされていたそうで、説明をしてくれた職員さんが『「福祉」という漢字を書いて「ぶんか」とふりがなを振る』というまり子さんの言葉が心に残っていると話されたのが印象的でした。

(写真はどんぐり美術館の中庭で撮ったものです。)



プルトップで車椅子購入

アルミ缶のプルトップが、皆様のご協力で200kgになり、約3万円の金額になりました。これで車椅子を購入しコミセンに配置いたしました。そこで、お願いがあります。小さなプルトップ→集まって→お金→皆様に必要なものを購入できる……でも、どこで集めているか?わからない人も多いとか?…ボラセンで集めていますのでよろしくお願いいたします。



今回は介助用の軽い車椅子を購入しました。自走用と併せてコミセンには2台用意してありますので、必要な時はいつでもお声掛けください。

比留川さんが表彰されました

平成28年11月23日(水)、第37回茅ヶ崎市社会福祉大会で永年の福祉活動(ほのほの小出等)により比留川さんが表彰されました。おめでとうございます。これからもますますのご活躍よろしくお願いいたします。

